

様式2 令和4年度 学校運営協議会(コミュニティ・スクールくさつ)の実施報告および議事概要

1、日時・場所

	第1回学校運営協議会	第2回学校運営協議会	第3回学校運営協議会	第4回学校運営協議会
日時	6月6日(月) 14時00分～16時00分	9月 9日(金) 18時30分～20時30分	12月 6日(火) 14時00分～16時00分	1月 27日(金) 14時00分～16時00分
場所	高穂中学校会議室	高穂中学校会議室	高穂中学校会議室	高穂中学校会議室

2、委員の出欠

名 前	会長 副会長	役 職 等	出 欠	出 欠	出 欠	出 欠
1 内藤 正規	会長	志津学区保護司・元中学校長	出席	出席	出席	出席
2 河口 眞佐男		元滋賀大学教授	出席	欠席	欠席	出席
3 奥村 次一		志津まちづくり協議会 会長	出席	欠席	出席	出席
4 高田 憲一		志津南学区まちづくり協議会 会長	出席	欠席	出席	欠席
5 垣根 和子		志津南学区民生委員児童委員	出席	出席	出席	出席
6 中谷 緑郎		矢倉学区未来のまち協議会 会長	欠席	欠席	出席	欠席
7 東畑 直樹		PTA会長	出席	欠席	欠席	欠席
8						

※名前に記されている印は、◎会長 ○副会長

名 前	役 職 等	出 欠	出 欠	出 欠	出 欠
1 作田 まさ代	校長	出席	出席	出席	出席
2 藤井 泰三	教頭	出席	出席	欠席	出席
3 黒崎 紀子	教務主任	出席	出席	出席	出席
4					
5					

3、傍聴人の有無

傍聴人	0 人	傍聴人	0人	傍聴人	0 人	傍聴人	0 人
-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----

4、議題および主な意見

議題および主な意見				第1回学校運営協議会	第2回学校運営協議会	第3回学校運営協議会	第4回学校運営協議会
基本理念	施策の基本方向・項目	市重点	学校重点	学校運営基本方針の承認について	基本施策番号( 8・12)	基本施策番号( 4・17 )	学校評価について
子どもが輝く教育のまち・出会いと学びのまち・くさつ	1豊かな心と健やかな体の育成	○	3	道徳教育・人権教育の推進	<p>議題 令和4年度全国学力・学習状況調査の結果と今後の重点取組について</p> <p>概要 結果分析に基づき、本校の強みと課題を共有することができた。また、その背景について様々な視点で意見を交流した。</p> <p>主な意見 ・家庭基盤が安定している家庭が多く、教育に対する意識も高い傾向にある。生徒は、やや受け身的であるが、主体的に取り組むという思いがある。 ・授業、学級活動等の改善をすすめる。 ・全国的な課題である不登校傾向の増加の対応が課題である。</p>	<p>議題 生徒指導・校内適応指導教室</p> <p>概要 生徒指導・不登校等について現状を報告し、課題を共有することができた。校内適応指導教室等について意見を交流した。</p> <p>主な意見 ・不登校は全国的に増加傾向。高穂中学校も全国、県と同様の傾向にある。校内適応指導教室の取組は画期的であり、どの学校でもこれから必要になってくるであろう。 ・事故防止に向け、現場で具体的な対応を学ぶことも大切。道路環境等は学校、地域、PTAが協力して要望を上げる。</p>	<p>主な意見 ・「たかほ学」の取り組みは評価できる。「SDGsサミット」も大変有意義であった。地域の活力を活かした特色ある学校づくりと開かれた学校が進んでいる。 ・タブレットを活用した授業が日常的に行われており、その使用について肯定感が高いことも生徒アンケート等からわかる。ICT活用が浸透していると言える。 ・視力の低下等のデメリットも考慮しながら、全てをICTに頼るのではなく、有効な場面や使い方を見極めて活用することを考えて欲しい。 ・不登校傾向の生徒に対する校内適応指導教室の取り組みは高く評価できる。今後さらなる充実を期待する。 ・いじめや生徒指導において未然防止や問題解決はもちろん大切だが、生徒自身が嫌なことに負けない心やそれらを自分ではね返す力を社会に出るまでに身につけることも大切ではないか。 ・地域の見守りや家庭の教育力が生徒の落ち着きに影響しているとも考えられる。 ・部落差別に関する学習については、3年間しっかりと積み上げていってほしい。 ・図書館は生徒の利用を考え、様々な工夫をしているが、部屋が狭く、書架に限りがあることや、採光や照度の課題があり、ハード面での整備が更に必要。</p>
			4	いじめを根絶する取組の推進			
			5	健やかな体づくりの推進			
			6	社会性や豊かな情操育てる教育の推進			
			7	インクルーシブ教育の推進			
			8	ICTを活用した教育の推進			
			9	読書活動の推進			
			10	基礎学力向上のための取組の充実			
			11	英語教育の推進			
			12	教職員研修・研究活動の充実			
	2確かな学力の育成	◎	8	ICTを活用した教育の推進	<p>議題 地域と連携した総合的な学習の在り方</p> <p>概要 1学期末現在では、「地域連携」等の重点項目でよい評価が得られていることをふまえ、各項目の今後の方向性や、課題について共有することができた。</p> <p>主な意見 ・軌道にのった重点項目が多い。 ・子どもの体験不足は全国学力・学習状況調査で結果として表れている。2学期は行事や体験活動がたくさんある。コロナ禍ではあるが、できる限りよい体験につながるよう努めていきたい。</p>	<p>議題 地域と連携した総合的な学習</p> <p>概要 2学期の各学年の取組概要を説明し、地域連携により様々な支援を受けて、生徒の学習が進んでいることを共有できた。</p> <p>主な意見 ・学習する分野はどのように決定するかや学びの交流の方法等の質問が出た。2学期の具体的な取組を説明するとともに、3学期に予定している「たかほSDGs サミット」の内容について紹介した。</p>	
			9	読書活動の推進			
			10	基礎学力向上のための取組の充実			
			11	英語教育の推進			
			12	教職員研修・研究活動の充実			
			13	教職経験に応じた人材育成の推進			
			14	教職員の健康管理と働き方改革の推進			
3教職員の指導力の向上	◎	15	地域の活力を生かした特色ある学校経営の推進	<p>議題 地域と連携した総合的な学習の在り方</p> <p>概要 1学期末現在では、「地域連携」等の重点項目でよい評価が得られていることをふまえ、各項目の今後の方向性や、課題について共有することができた。</p> <p>主な意見 ・取組を進めるには日程調整が重要。 ・昨年までの取組と今年度の取組に関連性がないのであれば、教師間で指導内容や方法等のイメージをしっかりと共有する必要がある。 ・地域を調べるのに、ネット以外の関係資料が必要になる。</p>	<p>議題 地域と連携した総合的な学習</p> <p>概要 2学期の各学年の取組概要を説明し、地域連携により様々な支援を受けて、生徒の学習が進んでいることを共有できた。</p> <p>主な意見 ・学習する分野はどのように決定するかや学びの交流の方法等の質問が出た。2学期の具体的な取組を説明するとともに、3学期に予定している「たかほSDGs サミット」の内容について紹介した。</p>		
		16	教職員の指導体制・学校支援体制の充実				
		17	配慮を要する子どもへの支援体制の充実				
4学校経営の充実	○	15	地域の活力を生かした特色ある学校経営の推進	<p>議題 地域と連携した総合的な学習の在り方</p> <p>概要 1学期末現在では、「地域連携」等の重点項目でよい評価が得られていることをふまえ、各項目の今後の方向性や、課題について共有することができた。</p> <p>主な意見 ・取組を進めるには日程調整が重要。 ・昨年までの取組と今年度の取組に関連性がないのであれば、教師間で指導内容や方法等のイメージをしっかりと共有する必要がある。 ・地域を調べるのに、ネット以外の関係資料が必要になる。</p>	<p>議題 地域と連携した総合的な学習</p> <p>概要 2学期の各学年の取組概要を説明し、地域連携により様々な支援を受けて、生徒の学習が進んでいることを共有できた。</p> <p>主な意見 ・学習する分野はどのように決定するかや学びの交流の方法等の質問が出た。2学期の具体的な取組を説明するとともに、3学期に予定している「たかほSDGs サミット」の内容について紹介した。</p>		
		16	教職員の指導体制・学校支援体制の充実				
		17	配慮を要する子どもへの支援体制の充実				
		18	ICTを活用した教育の推進				
成果および課題				<p>・学校運営に関わって、学校と地域が思いを共有することができた。 ・地域と連携を進めていくためには、学校の取組をより具体化し、必要となる協力や支援の内容を明確にしていく必要がある。また、学校が求める協力機関や支援者の集め方については、今後も検討する必要がある。</p>	<p>・調査の結果に基づき、客観的に生徒の状況や学校の取組について協議することができた。また、本校の強みや課題について地域と共有することができた。 ・ICT機器活用教育の方向性や必要性等様々な内容について地域と協議することができた。また、授業改善の推進、組織的な取組の重要性を再確認できた。 ・7日前に資料配付。当日欠席者も事前に意見徴集。</p>	<p>・学校評価について説明し、評価の手順や方法等について共通理解が図れた。 ・学校行事をはじめ、総合的な学習、校内適応指導教室の取組、生徒指導等について2学期の状況を報告することで、学校の状況や生徒の姿を地域と共有することができた。 ・行事、新しい取組等素晴らしいが、教員の負担感も考慮しながら持続可能なものにしてほしい。</p>	<p>・全項目協議しながら学校評価をすることで、本年度の取り組みや学校の現状、生徒の姿を地域と再確認することができた。 ・次年度に向けた課題や力点が明確になり、それらを地域と共有することができた。</p>